

〈献木・寄附のお願い〉

【木のCO₂削減効果】

「隗より始めよ」

環境保全のために

まず出来ることのひとつに

植林と森林保全があります。



杉 1 本(伐採期)の空气中 CO₂削減力… 約 10 kg/年

ヒト 1 人の空气中への CO₂排出量…約 1000 kg/年

1人が100本の杉成木を保有するとほぼ吸収と排出の収支が合います。

演習林(10ha)には約3万本の樹木があります。これらが吸収する二酸化炭素は約75世帯の年間排出量に匹敵します。一昨年には杉1000本の植林を皆様の会費や寄附金を基に行いました。本年も約500本の樹木を植林予定です。皆様の献木または寄附のご協力を心よりお願い申し上げます。

「細微不可慎 隄隴自蟻穴」(小さなことも疎かにしてはいけない。堤防も蟻の穴から潰える。)

【木の様々な生態系機能】

〈二酸化炭素を削減する効果〉

植物は日光と水と二酸化炭素を原料として光合成を行います。その過程で有害ガスも同時に吸収し無害化するので、空気を浄化する効果もあります。

〈太陽放射を緩和し、気温の急激な変化を緩衝する効果〉

落葉樹林には、冬は大気を加熱する作用が大きく、夏には蒸散による熱消費が大きいという、気温の変動を緩和する働きがあります。

〈森林浴効果〉

樹木はテンペル類成分で構成された「フィトンチッド」と呼ばれる揮発性物質を放出します。これは樹木が傷ついたとき病原菌に感染しないよう傷口を殺菌したり害虫を寄せ付けない効果がありますが、これは人間にとっても有効な成分です。フィトンチッド及び森林浴によるリラックス効果によって NK 活性を上昇させることが明らかになりました。(がん細胞やウイルスに感染した細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞(NK細胞)の強さをNK活性と呼び、これが免疫力の指標とされます)。

〈木材の生合成〉

木材は建築資材・和紙など有用原料として供給されています。木材の主成分であるセルロースやリグニン(有機物)は、無機物(CO₂・H₂O)を原料にして生体内で起こる化学反応によって生成されます。

〈森林の保水・浄化効果〉

落葉樹は縦横に根を広げるため強い雨風による倒木や土砂崩れを防ぎます。また落葉によって出来た腐葉土には保水性があり川の水が枯渇するのを防ぎ、雨水を濾過する効果もあるので川の水を綺麗にします。

ガソリン車を電気自動車に変換して本当にCO₂が削減できる？

電気自動車は排気ガスを出さないので環境保全への有用性が期待されます。けれど動力の素である電力に注目してみると、その多くは原子力・火力発電に依存しています。火力発電の原料は石炭・石油・天然ガス、原子力発電の原料はウランで、これらは自然破壊や電力の多用なくしては入手できません。さらに電気自動車のバッテリー素材であるリチウムなどいわゆる希土類は、鉱物中にも含有量が少なく精錬に多量のエネルギーが必要です。CO₂排出と自然破壊は避けては通れない問題で八方塞の感がします。

〈ご支援・ご寄附のお願い〉

当認定NPO法人の活動は皆様からのご支援によって支えられています。活動を支援して下さる会員およびご寄附を募集しております。寄附金は所得税控除が受けられます。

〈お問い合わせ・お申し込み〉 認定特定非営利活動法人 **天然薬用資源開発機構** 事務局

〒602-8136 京都市上京区榎木町通黒門東入中御門横町 574 番地 1 ファルマフードビル

TEL:075-803-1653 FAX: 075-803-1654 E-mail:npo@tenshikai.or.jp